

# LANCIA DELTA S4

## '86 SANREMO RALLY

1/24 ランチア デルタ S4  
'86 サンレモ ラリー



一般道を舞台に世界のトップドライバーがそのドライビング・テクニックを駆使してコマ1秒を競って駆け抜ける。ラリーはサーキットレースとは違った魅力にあふれています。ラリーの歴史の中で大きな存在感を見せるのがイタリアのランチアです。1906年、イタリアのトリノに誕生したランチアはモータースポーツに積極的にかかわってきました。その始まりはロードレースでF1にもその足跡を残していますが大きな輝きを見せたのはラリーフィールドでの活躍といつても過言ではないでしょう。

ランチアが本格的にラリーで存在感を発揮したのは1966年に送り出したフルピアでした。フロントにV型4気筒エンジンを搭載したFFの2ドアクーペ、フルピアは1969年以降に排気量を1.6リッターに拡大するとその実力が開花。1972年には初のタイトルを獲得するなどランチアのラリーにおける活躍が始まったのです。翌1973年から世界ラリー選手権、WRCがスタートすると新たな車両としてグループ4仕様のマシン、ストラトスを開発。74年に公認を受けるとこの年のマイクスタイルトを獲得。さらに、1982年にWRCがグループ4マシンからグループBマシンによって争われることになるランチア・ラリー037を開発。翌83年シーズンにマイクスタイルトを獲得します。しかしながら、この時期、アウディを皮切りに、他メーカーのラリーカーは4WDへと続々と移行。2WDではもはやラリーフィールドでは太刀打ちできない状況が生み出されてきたのです。そして、ランチアが新たにウェポンとして作り出したのが1985年シーズンの最終戦RACラリーでデビュー、いきなり優勝を飾ったランチア・デルタS4でした。WRC制覇のための方程式、ハイパワー+4輪駆動のマニキューズを搭載したデルタS4はミッドシップに1759ccの直列4気筒エンジンを搭載。エンジンには低回転域でのトルクを確保するためのアバルト製スーパーチャージャーと高回転域でのパワーを得るためのKKK製ターボチャージャーを装備。450馬力ともいわれたパワーは86年の終盤には550馬力に達していたと言われています。それをミッドシップに搭載するシャシーは鋼管スペースフレーム構造を採用。エンジンとギヤボックスを前後逆方向に搭載し、エンジンの前方に配置されたギヤボックスから前後にパワーを振り分けていました。ボディは市販5ドアハッチバックのファミリーカー、デルタのイメージを残すものの全く異なるデザインでした。

1985年のWRC最終戦RACラリーでデビュー。トイボンが優勝し、デビューウインを飾ります。ワークスチームはマルティニカラーで活動しますが、それ以外にもイタリアの名門プライベーターとして知られるヨリーレ・クラブにもマシンは託され、メインスポンサーのTOTIPのカラーリングで活動。WRCのほか、ヨーロッパラリー選手権やイタリア・ラリー選手権などにも出走。1986年のサンレモ・ラリーではワークスのミキ・ビアジョンに続いてCarlo Cerratoが2位に入賞するなど、活躍したのです。

The world's top drivers compete their driving techniques on public roads. Rally racing is full of charm different from circuit racing. In rally history, Lancia of Italy showed a great presence. Founded in Turin, Italy in 1906, Lancia has been actively involved in motorsport. Lancia has been very successful in motorsport such as F1, but the most successful is in the arena of rally.

It was with the 1966 Fulvia that Lancia started in earnest to show up prominently in rally. A FF 2-door coupe with a V4 engine at the front, the Fulvia was enlarged its displacement to 1.6 liters and showed its power after 1969. In 1972, Fulvia won its first title and started to play an active part in the Lancia rally. The following 1973 Lancia developed a new machine, Stratos, specifically for the Group 4 regulations commenced by WRC (World Rally Championship). Homologated for the 1974 WRC season, the Stratos won the World Championship for Makes in the same year. Furthermore, in 1982 Lancia developed 037 when WRC introduced Group B as a replacement for Group 4, and took the title of World Championship for Makes in the next 1983 season. However, at this time of the year, other manufacturers, starting with Audi, moved one after another to 4WD. 2WD could not compete no longer with 4WD in the rally field. Then, Lancia created the Lancia Delta S4 as a new weapon, which debuted at the RAC Rally in the final of the 1985 season and suddenly won the championship.

Equipped with a equation for WRC domination, a high-power + 4WD system, the Delta S4 was powered by a mid-mounted 1759cc inline-four engine. The engine was equipped with Abarth supercharger to ensure torque in the low-rotation range and a KKK turbocharger to obtain power in the high-rotation range. The power which was called 450 hp, reached 550 hp at the end of 1986. The chassis with mid-mounted engine adopted a steel tubular space frame construction. The mid-mounted engine and the gear box were reversely equipped in the front and rear directions, and the power was distributed back and forth from the gear box placed in front of the engine. The body left the image of consumer family car, the Delta 5-door hatchback, but the design was entirely different.

The Delta S4 made its debut in the RAC Rally, the last event of the WRC season in 1985. Henri Toivonen won and made his debut win. The works team was sponsored by Martini. The Jolly Club team, known as Italy's prestigious privateer, also ran the DELTA S4 in TOTIP livery. Besides WRC, DELTA S4 also ran for the European Rally Championship and the Italian Rally Championship. At the Sanremo Rally in 1986, Dario Cerrato won second place following Works' Miki Biasion.

### 組み立てを始める前に / Read Before Assembly

この説明図をよく読んで工作の流れをつかみ、塗装や組み立てなどの手順を考えて作業をしてください。

■ このキットはディスプレイ専用プラスチックモデルキットです。接着剤、工具、塗料などは入っていませんので別にご用意ください。次のような道具があると便利です。

● プラスチックモデル用接着剤(通常タイプ・溶剤タイプ) ● デザインナイフ(カッター) ● ニッパー ● ヤスリ各種 ● プラスチックモデル用塗料 ● ピンバイス、ドリル ● パテ ● エポキシ系接着剤 ※接着剤や塗料、工具などはそれぞれの取扱い指示に従って正しく使用してください。

■ キットの部品やできあがった完成品などは、直射日光や高温になる場所を避けて保管してください。

■ 部品を切り取ったあと不要部品や、ビニール袋などは自治体の定める分別収集基準に従って捨ててください。



製造 航美・思諾发展有限公司  
SOCIÉDADE DE DESENVOLVIMENTO  
SI NOK LIMITADA  
SI NOK DEVELOPMENT COMPANY  
LIMITED  
澳門新馬路61號永光廣場13樓C座  
E-mail:nunuhobbymodel@gmail.com

発売元: 有限公司プラツ  
〒424-0065 静岡県静岡市清水区長崎4丁目  
TEL.054-345-2047 FAX.054-345-2285  
http://www.platz-hobby.com/  
PLATZ Co.,LTD.  
64-1 NAGASAKI SHIMIZUKU SHIZUOKA  
424-0065 JAPAN



**Study the instructions thoroughly before assembly.**  
When assembling this kit, tools including knives are used. Extra care should be taken to avoid personal injury.

**Read and follow the instructions supplied with paints and/or cement, if used. Use plastic cement and paints only (available separately).**

**Use cement sparingly and ventilate room while constructing. Keep out of reach of small children. Children must not be allowed to suck any part, or pull vinyl bag over the head.**

**別売りの専用ディテールアップパーツと組み合わせれば  
さらに細部まで再現可能! ※詳細はプラツwebサイトをご確認ください。**

**1/24 ランチア デルタ S4 '86 サンレモ ラリー 用  
ディテールアップパーツ**

NE24007

## 使用する塗料

■: Mr.カラーの番号  
(GSIクレオス)  
H□: 水性ホビーカラー  
(GSIクレオス)  
□: モデルマスター

1	ホワイト(白)	H 1	ホワイト(白)	4696	グロスホワイト
2	ブラック(黒)	H 2	ブラック(黒)	4695	ブラック
8	シルバー(銀)	H 8	シルバー(銀)	4678	シルバー
9	ゴールド(金)	H 9	ゴールド(金)	4671	ゴールド
28	黒鉄色	H 18	黒鉄色	4681	ガンメタル
33	つや消しブラック	H 12	つや消しブラック	4700	セミグロスブラック
34	スカイブルー	H 25	スカイブルー	4659	フレンチブルー
39	ダークイエロー	H 79	サンディイエロー	4879	リーファーイエロー
43	ウッドブラウン	H 37	ウッドブラウン	4873	ウッド
47	クリアーレッド	H 90	クリアーレッド	4630	クリアレッド
61	焼鉄色	H 76	焼鉄色	4676	ジェットエキゾースト
78	メタルブラック	H 28	青鉄色	4679	スチール
79	シャインレッド	H 23	シャインレッド	4722	レッド
92	セミグロスブラック	H 2 + H 12	H2 ブラック + H12 つや消しブラック	4700	セミグロスブラック
10	スモーグレー	H 95	スモーグレー		
35	ミディアムグレー	H 53	ニュートラルグレー	4757	ニュートラルグレー
A	30(I) + 325(I) C30 フラットベース + C328 ブルーFS15050	H 40 + H 45	H40 つや消しグレー + H45 インディブルー	4612	コンバットブルー
B	49(2) + 101(1) C49 クリアーオレンジ + C101 スモーグレー	H 92 + H 95	H92 クリアーオレンジ + H95 スモーグレー	4672	プラス

## 組み立て方法 /How to Assembly

### ①部品の切り取り

部品をランナー（枠）からニッパーで切り取ります。カッターやヤスリなどを使いきれいに仕上げます。

### ②部品の接着

仮組みをして合わせ具合を確認してから、接着面に少量の接着剤を塗り、接着します。（接着面以外の部分に接着剤が付かないよう注意しましょう。）

### ③部品の塗装

接着剤が十分に乾いたら、塗装をします。（風通しの良い場所で晴れた日に塗装しましょう。）

## デカールの貼り方 /How to Apply Decals

①貼りたいデカールを切り取り、切り取ったデカールを水またはぬるま湯に10秒程度浸します。②台紙ごと引き上げ、布やティッシュペーパーなどの上に置き、余分な水分を吸い取らせます。③台紙の端を持ち、デカールをスライドさせながら所定の位置に貼ります。④位置は指先に少量の水をかけ、少しづづらしながら微調整してください。⑤柔らかい布や綿棒などで押し出すようにしながら、デカール内側に残った気泡や水分を取り除いてください。⑥貼り終わったデカールが十分に乾燥するまではさわらないように注意してください。⑦凸凹に馴染みにくい場合は、蒸しタオルや市販のデカール軟化剤を使用してください。⑧デカールの上からクリアーガーをかける場合は事前に余ったデカールでテストをおこなって問題がないことを確かめてからにしてください。

## アイコンの意味

×2 個数分作ってください  
Make 2 pieces

注意してください  
Caution

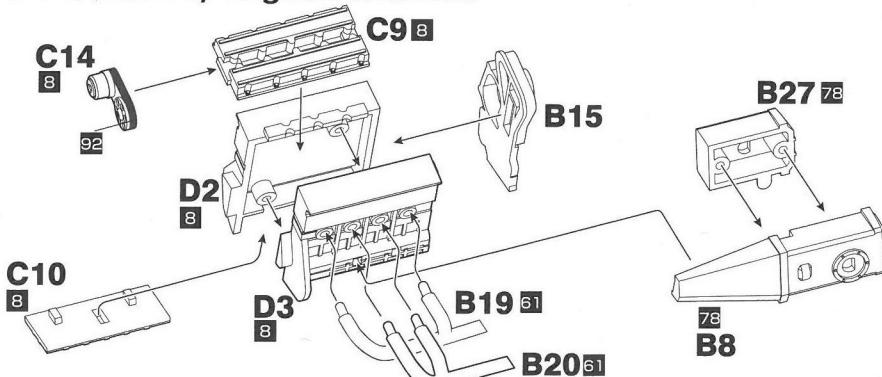
どちらかを選んでください  
Choise

切り取ってください  
Cut off

ピンバイスなどで穴を開けてください  
Bore a hole

接着しないでください  
Do not cement

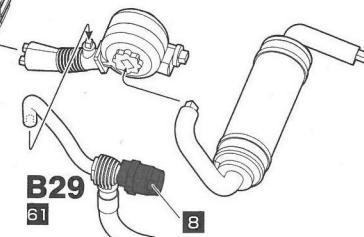
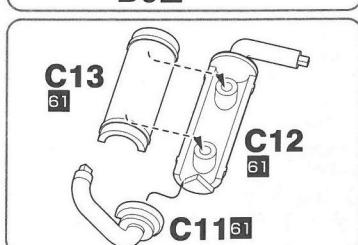
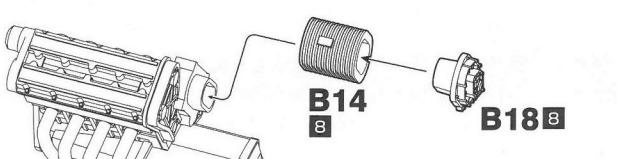
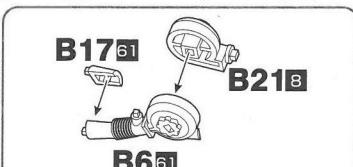
## 1 エンジンの組み立て / Engine Assemble



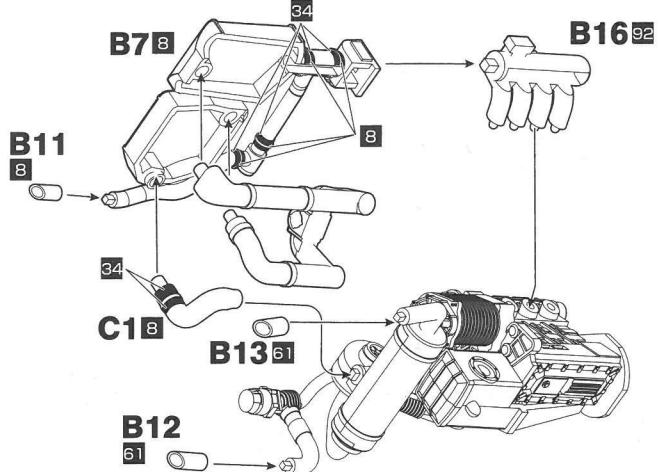
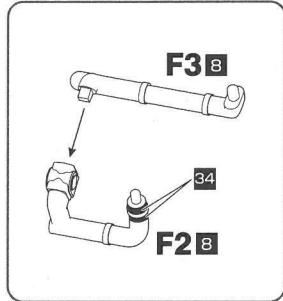
《B15の塗装》

デカール/Decal

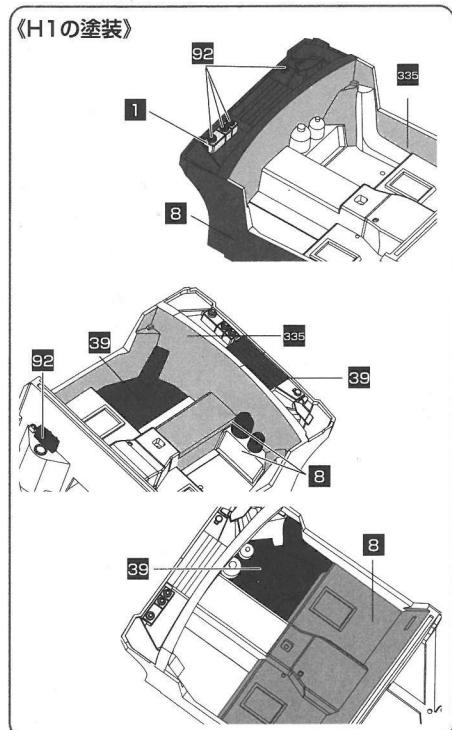
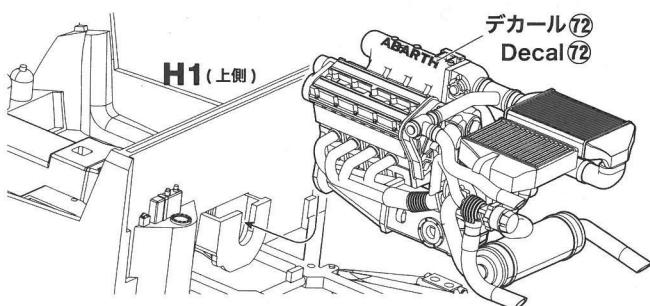
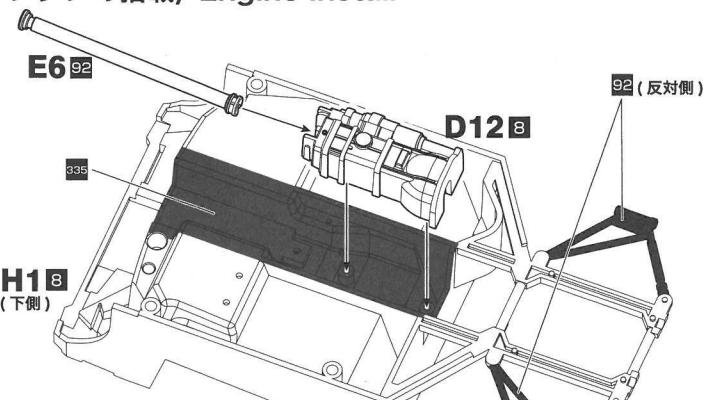
## 2 ターボチャージャーの組み立て / Turbocharger Assemble



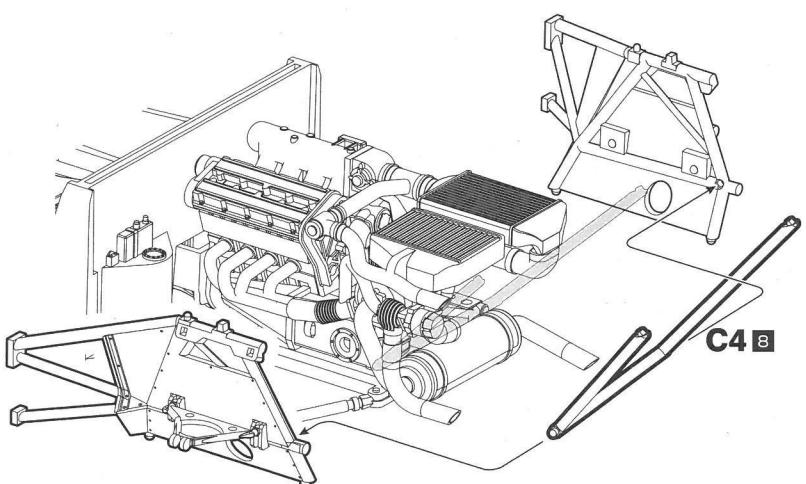
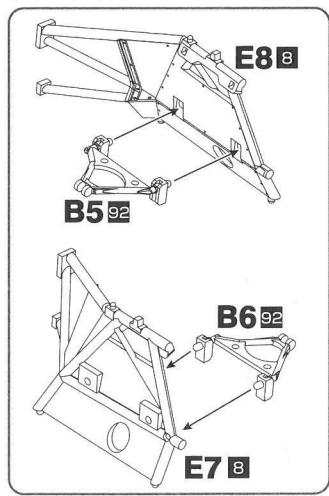
### 3 インタークーラーの組み立て/ Intercooler Assemble



### 4 エンジンの搭載/ Engine Install

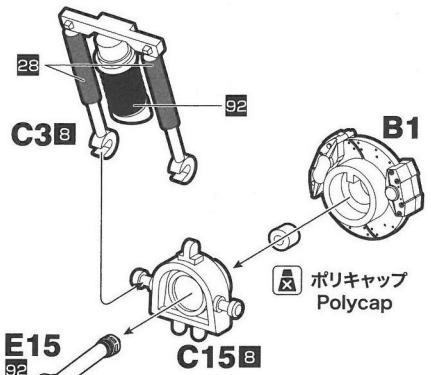
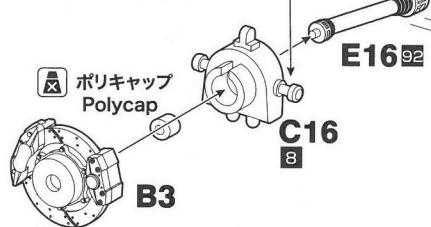
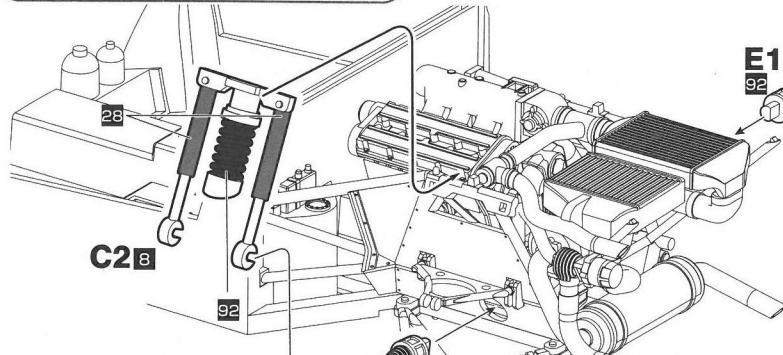
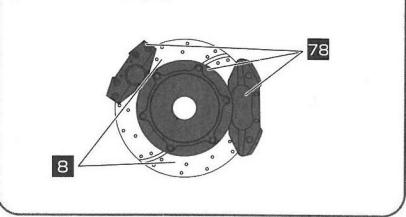


### 5 リアサブフレームの組み立て/ Rear Sub-frame Assemble

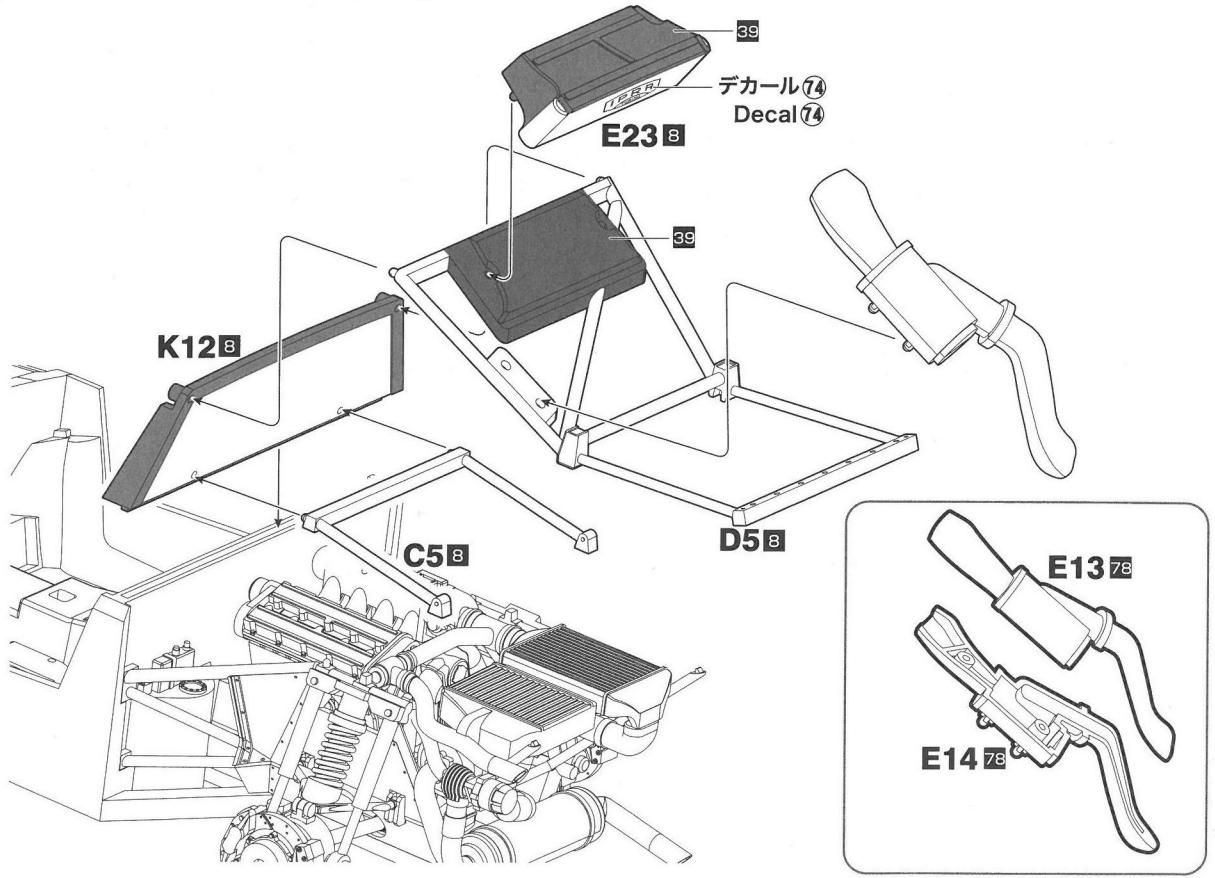


## 6 リアアクスルの組み立て / Rear Axle Assemble

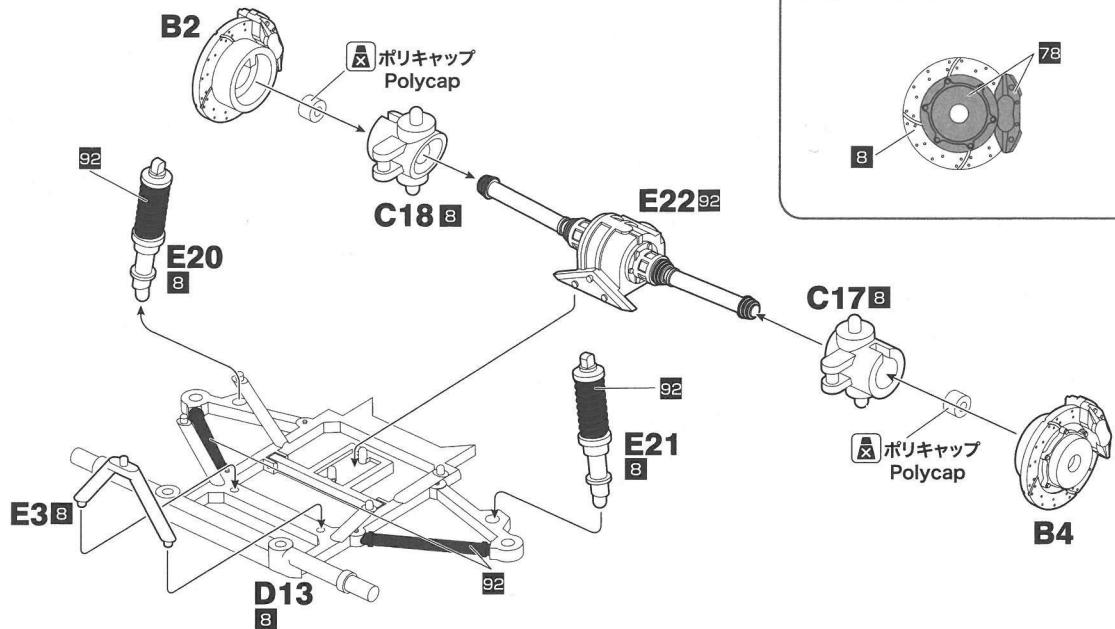
《B1、B3の塗装》



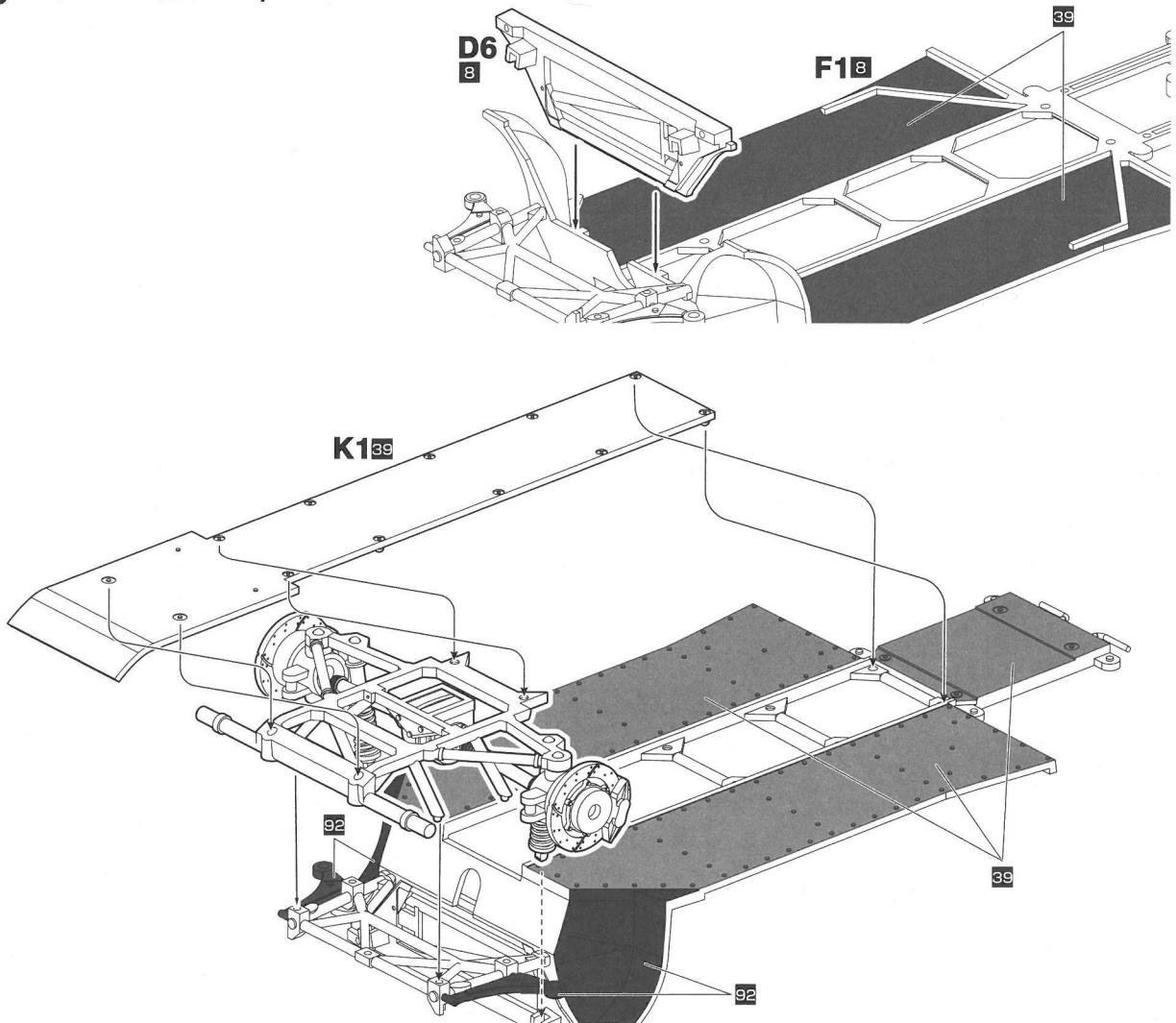
## 7 エンジンルームの組み立て / Engine Room Assemble



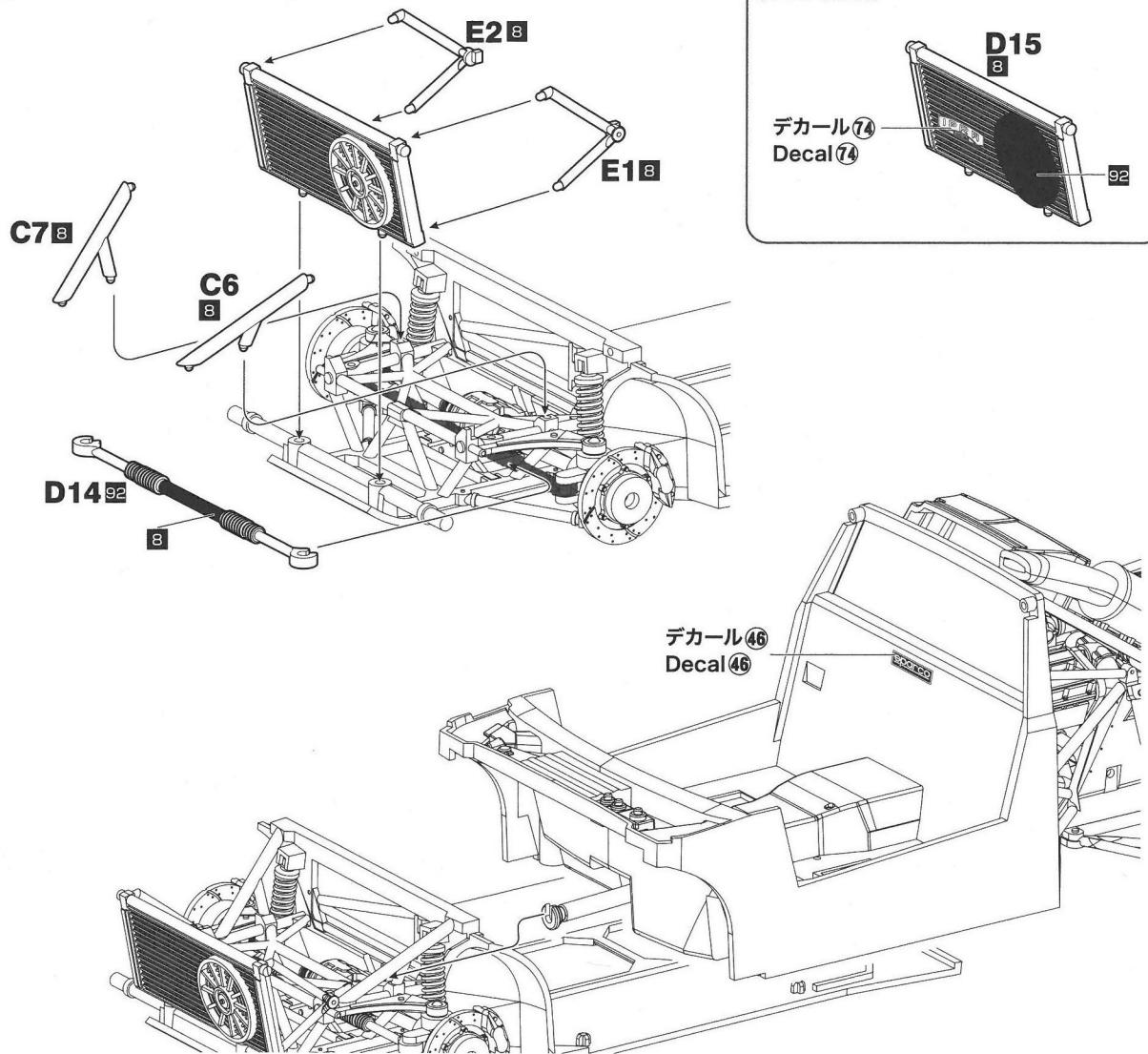
## 8 フロントアクスルの組み立て/ Front Axle Assemble



## 9 シャシーの組み立て/ Chassis Assemble

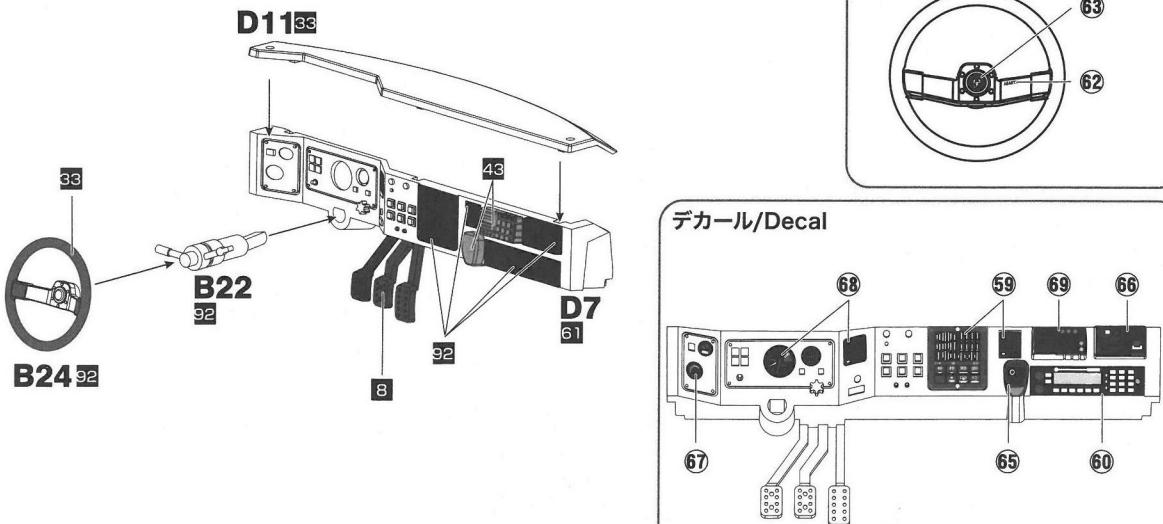


## 10 ラジエターの取り付け / Radiator Assemble

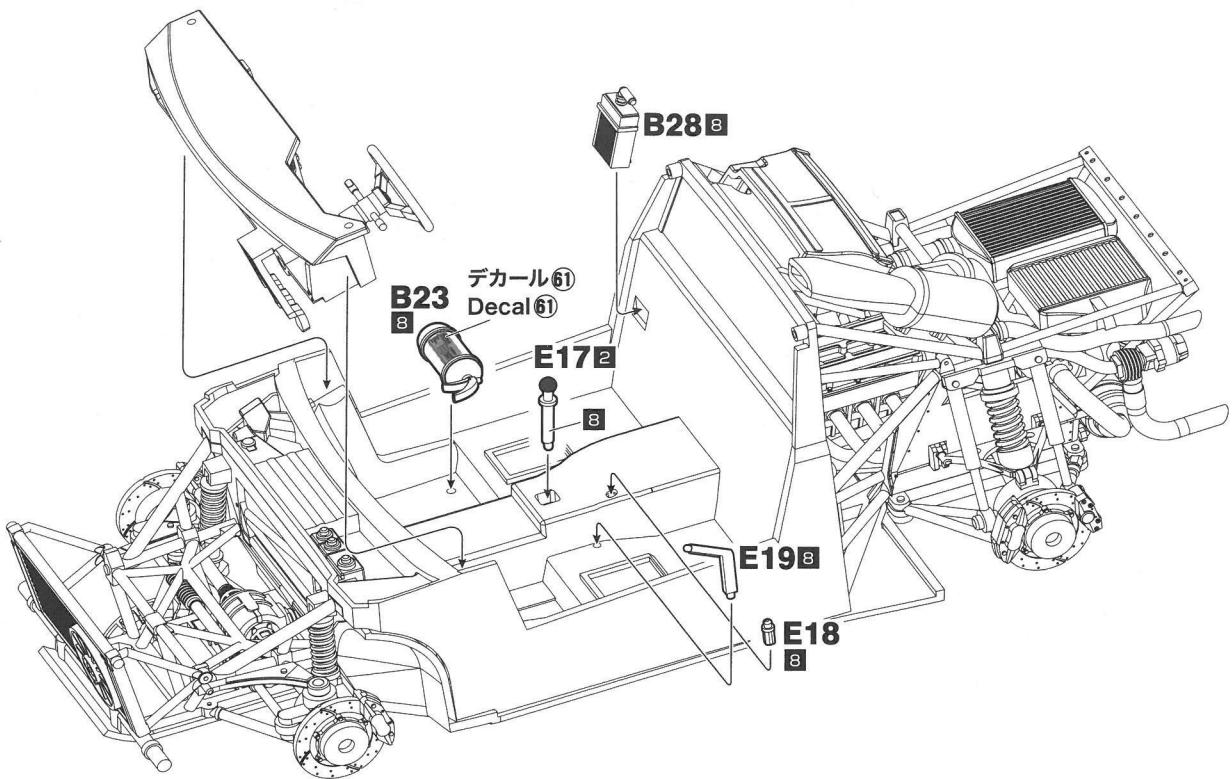


《D15の塗装》

## 11 ダッシュボードの組み立て / Dashboard Assemble

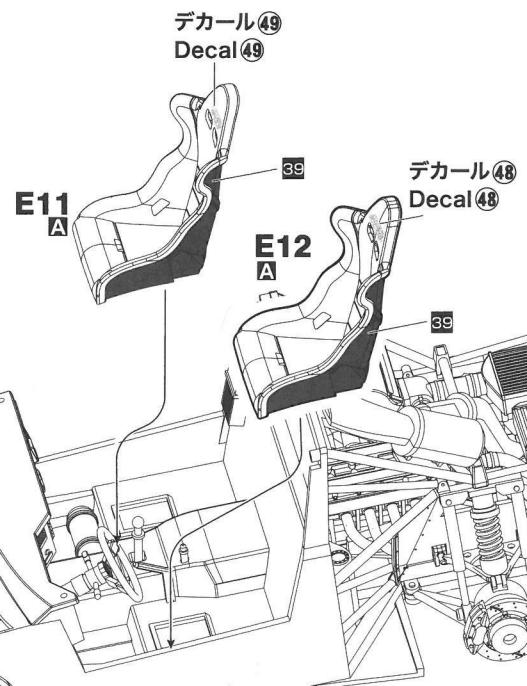
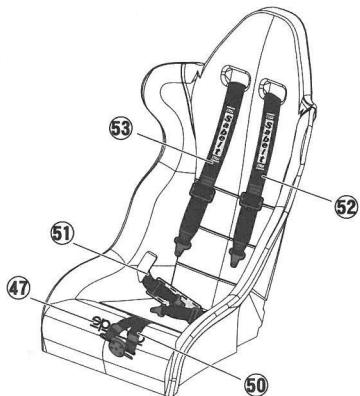


## 12 コクピットの組み立て / Cockpit Assemble

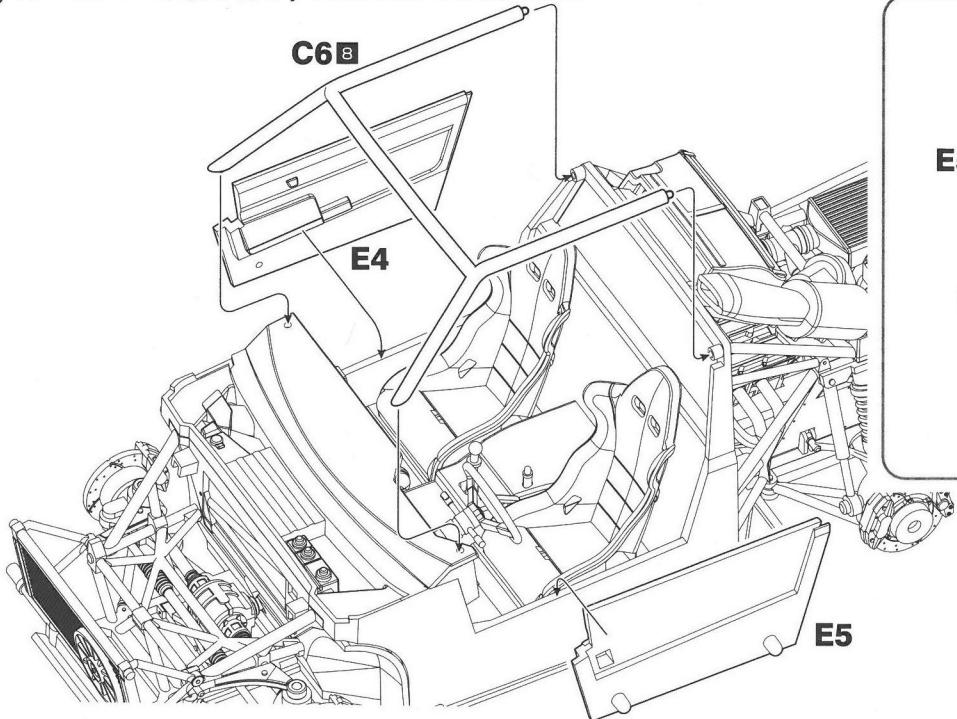


## 13 シートの取り付け / Seat Assemble

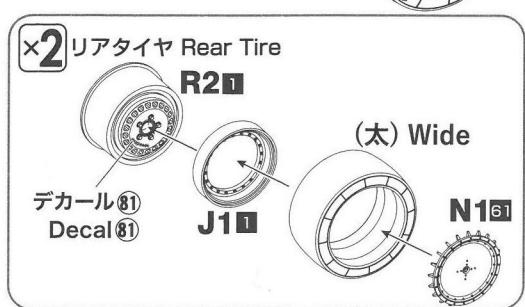
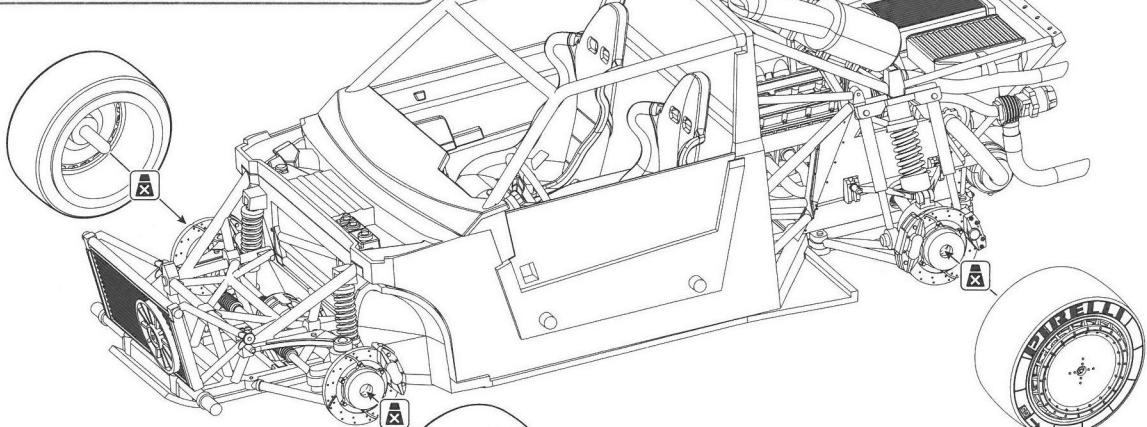
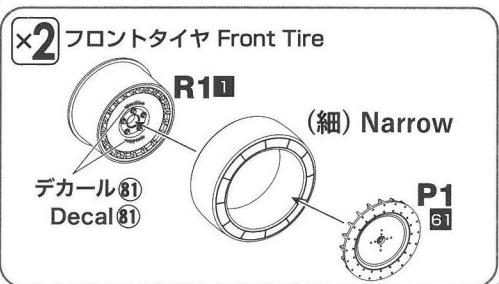
×2 デカール/Decal



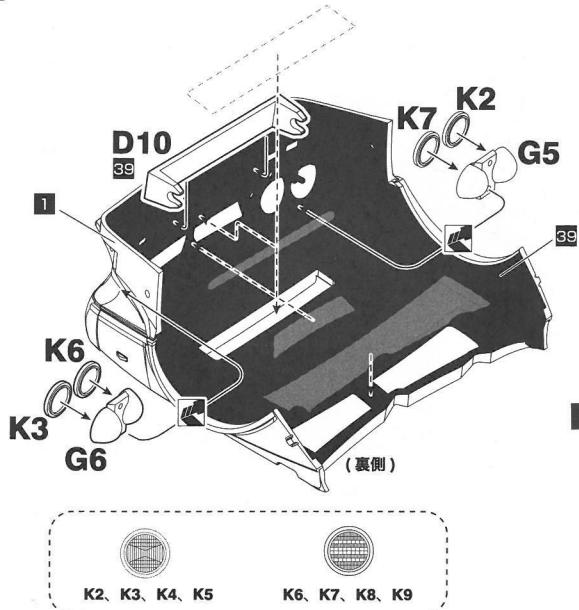
## 14 ロールバーの取り付け / Roll Bar Assemble



## 15 タイヤの取り付け / Tire Assemble

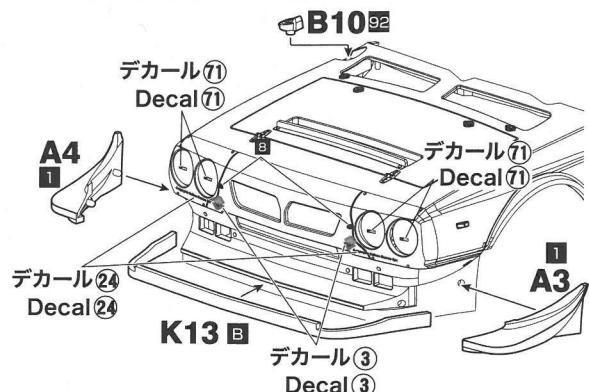


## 16 フロントカウルの組み立て / Front Cowl Assemble

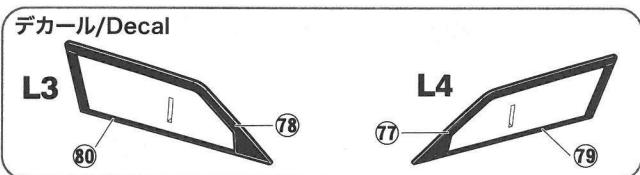
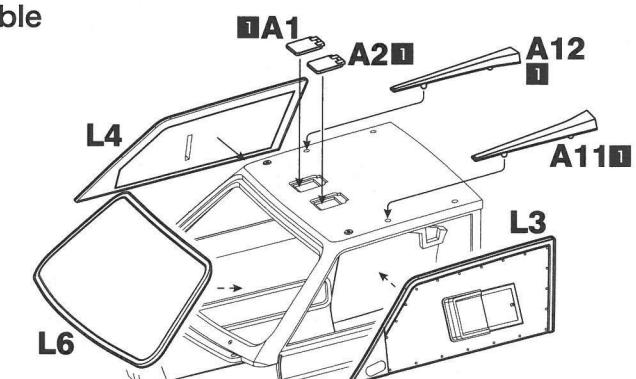
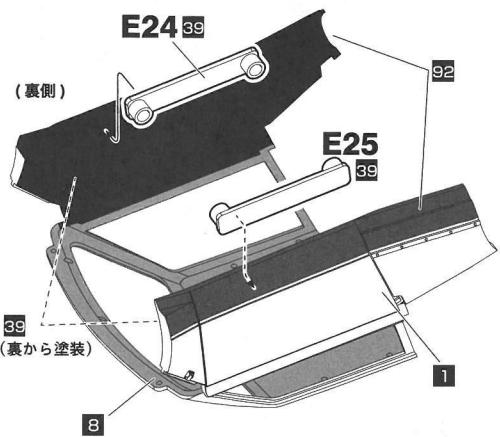


※右図のサイズにメッシュを切り、裏側から貼ります。  
Size the mesh to the next pattern, and fix it from the backside.

メッシュ  
mesh



## 17 ウィンドウの取り付け / Windows Assemble

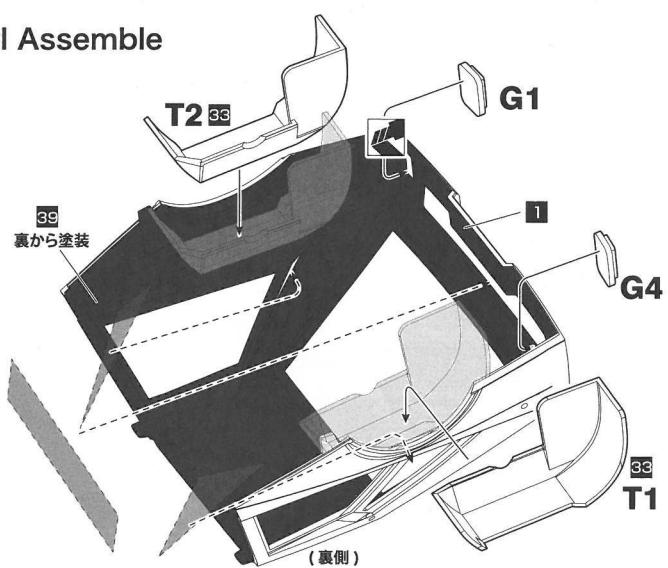


## 18 リアカウルの組み立て / Rear Cowl Assemble

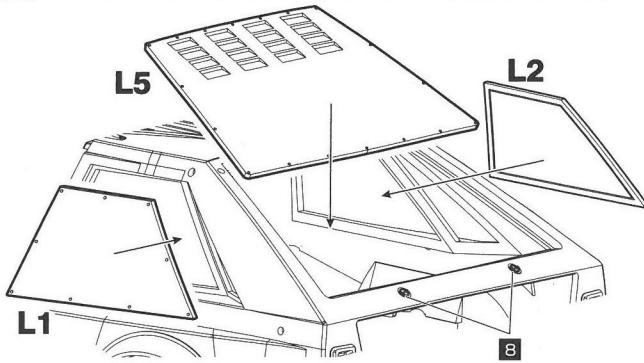
※下図のサイズにメッシュを切り、裏側から貼ります。  
Size the mesh to the next pattern,  
and fix it from the backside.



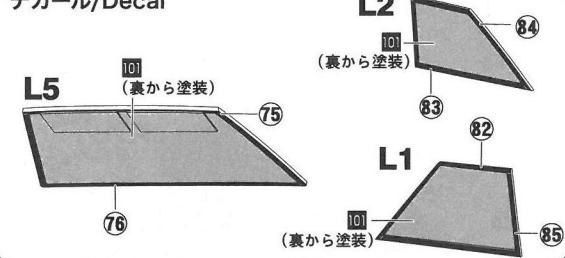
メッシュ  
mesh



## 19 リアカウルの組み立て / Rear Cowl Assemble

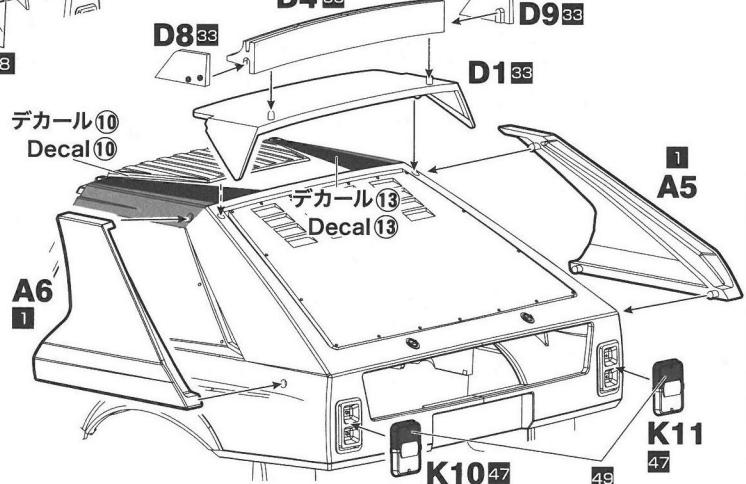


デカール/Decal

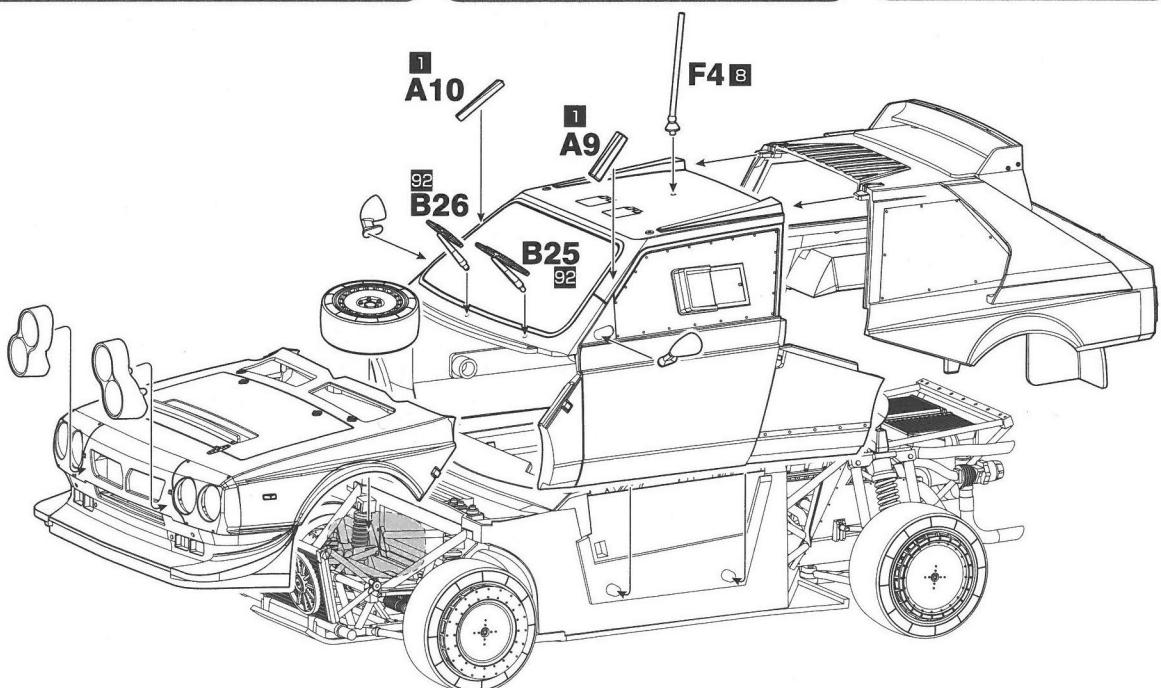
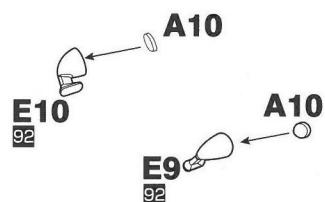
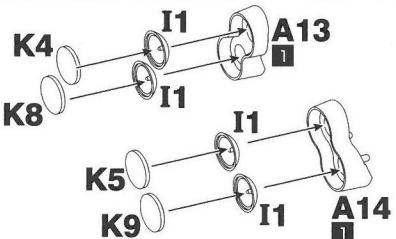


10、13のデカールは、A5、A6、D1を取り付ける前に貼っておくと良いでしょう。

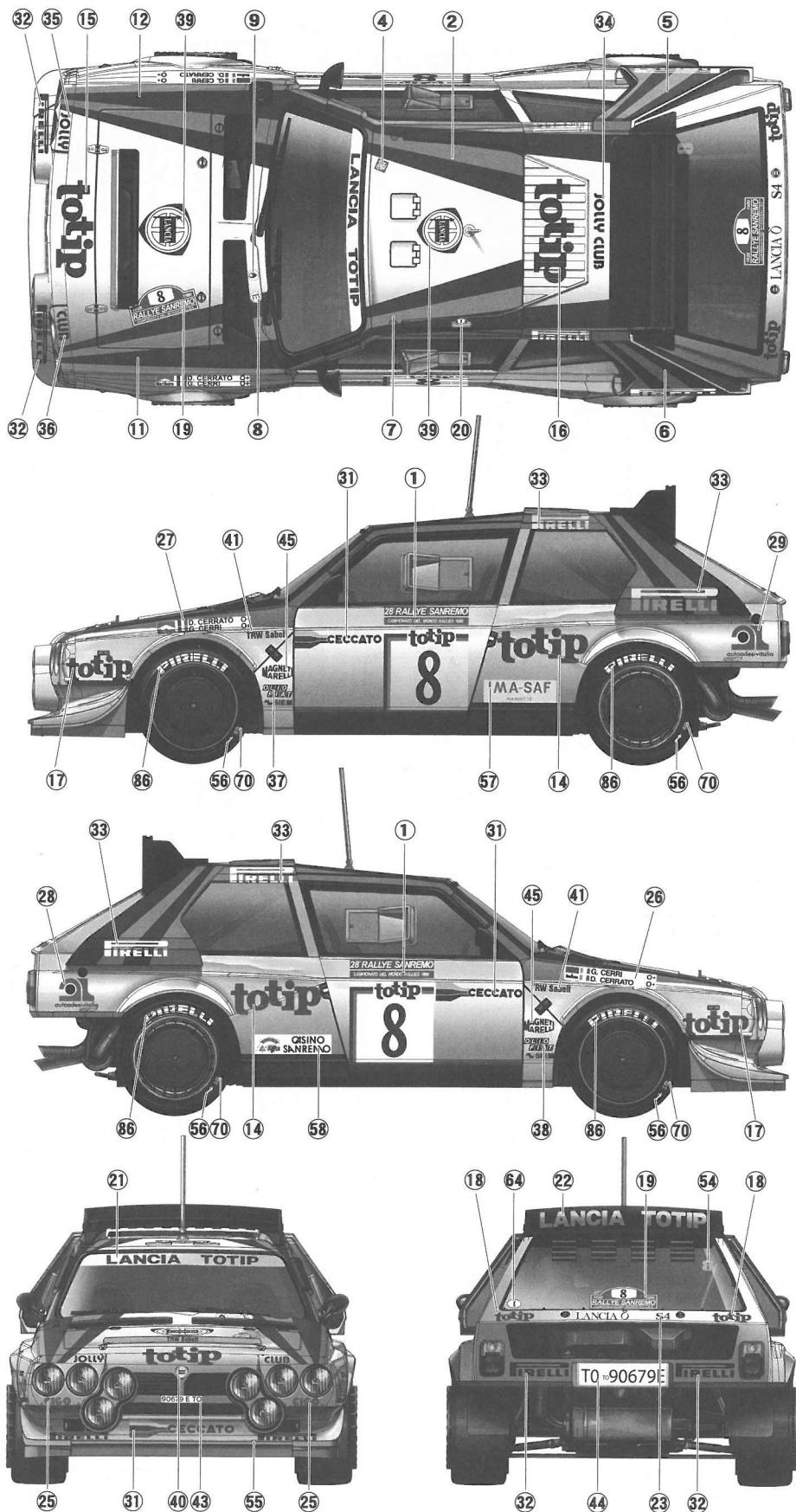
It might be better to apply the decal 10,13 before attaching A5, A6 and D1.



## 20 ボディ、カウルの取り付け / Body and Cowl Assemble

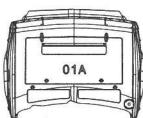


## 塗装 & デカール /Painting & Marking

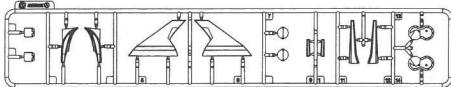


## 部品図 /Parts

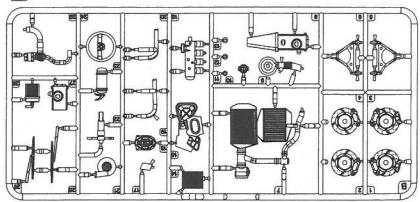
### ボディ/Body



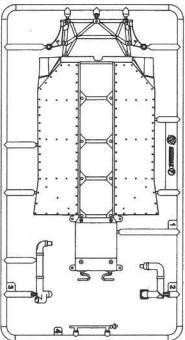
A



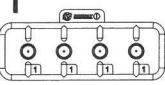
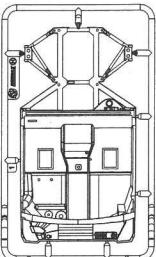
B



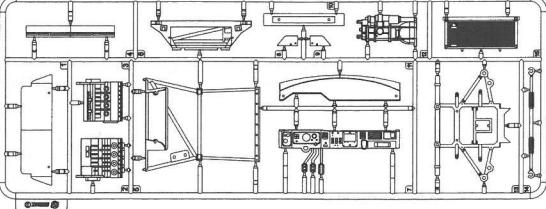
F



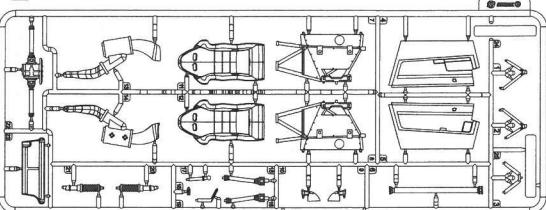
H



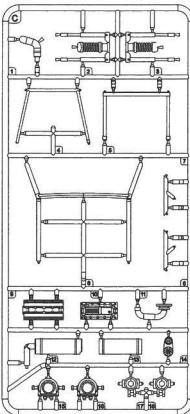
D



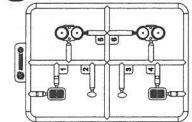
E



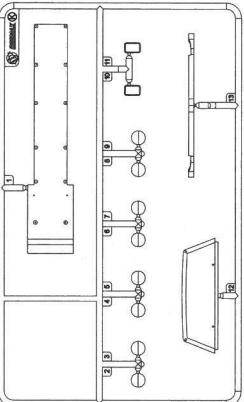
C



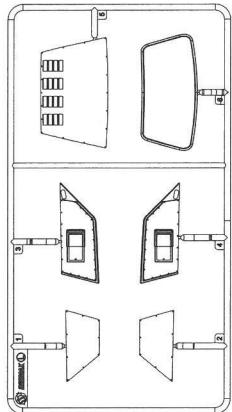
G



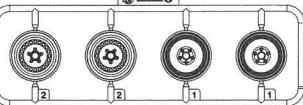
K



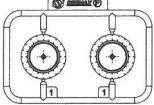
L



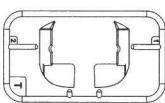
R



P



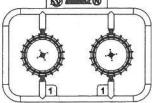
T



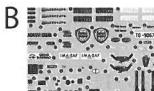
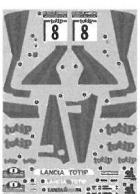
S



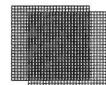
N



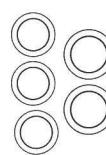
### デカール/Decal



ポリキャップ  
Polycap



メッシュ  
Mesh



タイヤ  
Tire

## アフターサービス /After Market Service

部品の不足や不良に関してはお手数ですが、お客様のお名前、ご住所、電話番号、商品名、不足部品の名称(番号)、数量、を明記の上、メールまたは電話／FAX、お手紙でご請求ください。無償で正規の部品を送付させていただきます。また破損・紛失については、実費で部品をお分けいたします。

お手数ですがメールまたは電話／FAXでお客様のお名前、ご住所、電話番号、商品名、部品名(番号)をお知らせいただければ、弊社から送料を含めた金額および送金方法をお知らせいたします。

※1 部品の在庫には限りがございますので万一、在庫切れの場合はご容赦下さい。

※2 デカールは不足・不良分のみの対応とさせて頂き、お客様の破損・紛失には対応できない場合があります。

※3 デカールのご請求はキットに使用する部分のみで、キャラクター部分は含まれません。  
以上、あらかじめご了承下さい。

### ■電話／FAXでの受付

TEL: 054-345-2047 (AM10:00～PM4:00) FAX: 054-345-2285

### ■メールでの受付

カスタマーサービス係: cs@platz-hobby.com

### ■お手紙での受付、部品代金の送付先

〒424-0065 静岡県静岡市清水区長崎 64-1

有限会社プラツツ 部品請求係宛